

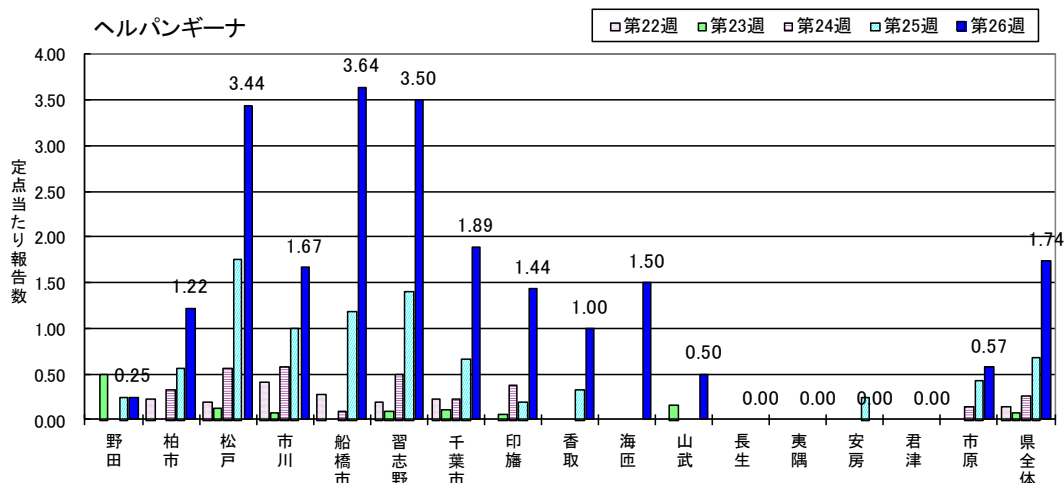
【今週の注目疾患】

ヘルパンギーナ

2016年26週の県全体の定点当たり報告数は、25週の0.69から増加し1.74となった。3週続けて増加し、夏季に乳幼児を中心に流行するため¹⁾²⁾、今後の発生状況に注意が必要である。

保健所別定点当たり報告数は、16保健所中11保健所管内で増加し、船橋市(3.64)、習志野(3.50)、松戸(3.44)、千葉市(1.89)が多い。

年齢群別では、1歳が最も多く28.1%を占めていた。

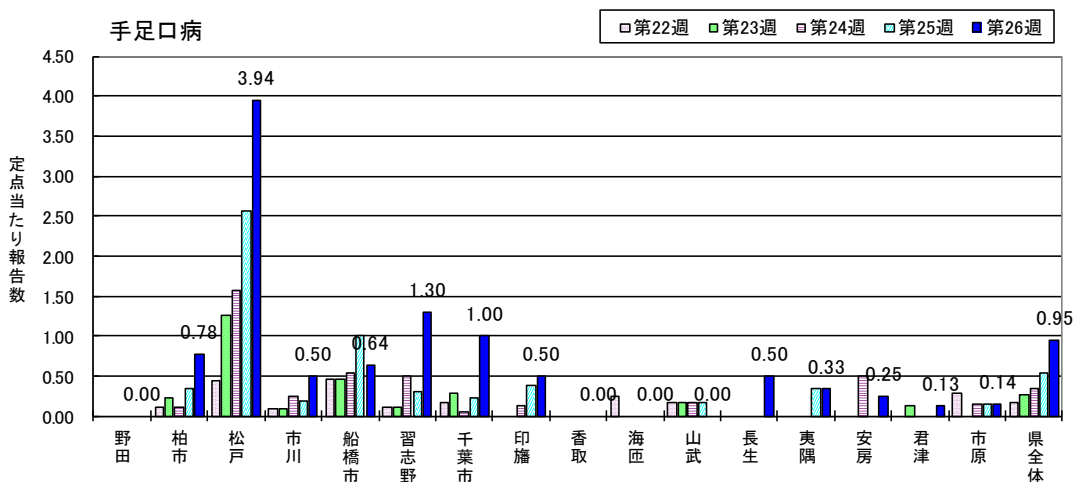


手足口病

2016年26週の県全体の定点当たり報告数は、25週の0.54から増加し0.95となった。6週続けて増加し、夏季に乳幼児を中心に流行するため¹⁾²⁾、今後の発生状況に注意が必要である。

保健所別定点当たり報告数は、16保健所中9保健所管内で増加し、松戸(3.94)、習志野(1.30)、千葉市(1.00)が多い。

年齢群別では、1歳が最も多く27.3%を占めていた。



参考

- 1) 2012年改訂版保育所における感染症対策ガイドライン(厚生労働省)
- 2) 学校において予防すべき感染症の解説(文部科学省)